

つたやしのミニネタコーナー

ミニネタ
No.31

校歌を全員で大きな声で歌わせる方法

校歌などの斉唱の指導の際、声量が小さくなってしま

うことがあります。原因は、指導者が「手抜き」を許しているからです。このような時は「手抜き」が許されない状況に子どもたちを「追い込む」ことが大切です。

①事前にクラスでハートの強い「やんちゃ君」数名に「卒業式の練習の際に、みんなの前で一人で大きな声で校歌を歌ってくれる？」とお願いしておきます。

②校歌の指導を始める前に子どもたち全員の前で、「誰か一人で校歌を歌える人はいますか？」と聞きます。あらかじめお願いしていた子を（周囲に悟られないように）指名します。出だしだけでもいいので歌ってもらいます。「すばらしい！拍手！」と全員で讃えます。これを数人繰り返します。

③「次はクラス毎に勝負です！」といって、クラス毎に歌わせていきます。

④最後は全員で出だしを歌います。かなり大きな声になっているはずですが、その後音楽担当の先生にバトンタッチします。

子どもたちは「手抜き」しようと思つてやつているのはありません。「手抜き」が許される状況の中で「自然に」そよなつてしまつているのです。ですから、「個人」↓「クラス」↓「学年全体」という具合に、指導する対象の人数規模を変えてテンポ良く声出しをさせていきます。規模を変えていくと「自分たちは評価されている」という意識が続き、「手抜き」しにくくなるからです。



イラスト | 吉田朋子